

令和3年第4回黒部市議会9月定例会

提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人） 通告要旨

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 新村文幸	<p>1 本市を取り巻く課題や、今後のビジョンについて</p> <p>(1) ウイズコロナを見据えた本市のビジョンについて</p> <p>(2) 夏期レビューと当面の財政運営、並びに、こども庁設置を見据えた事業展開について</p> <p>(3) 地区要望の予算化の拡充と不用額の繰入について</p> <p>(4) 生地駅周辺活性化事業の第2次総合振興計画後期計画への位置付けについて</p> <p>(5) 本市漁業の活性化、並びに事業存続に対する支援について</p> <p>(6) 黒部宇奈月縦貫道路の現況と今後の見通しと、一般国道8号入善黒部バイパスの4車線化について</p> <p>(7) 国土強靱化、道路ストックマネジメントについて</p> <p>(8) 無償化した事業(フリーパス)の今後の運営方針について</p> <p>(9) 新石田企業団地の現況と積極的な企業誘致について</p> <p>(10) デジタル化に伴う本市システムのベンダーロックインについて</p> <p>(11) ふるさと黒部サポート寄附の組織体制の強化と、段階的な生産体制の確立・拡充について</p> <p>(12) FTTH整備の進捗状況と整備見通しについて</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p>

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
2	自民クラブ 小 柳 勇 人	<p>1 総合振興計画の後期策定と自由度の高い財源確保について</p> <p>(1) 総合振興計画における財政計画の明示時期について問う。また、市単独事業の財源として見込みやすい留保財源などの動向について問う。</p> <p>(2) 個人市民税 所得割の見込みについて問う。黒部市人口ビジョンの見込みでは、令和9年の労働者数を20,660人程度と推計している。平成27年の労働者22,855人に対し所得割納税義務者が20,987人(91.8%)を基にすると、令和9年の所得割納税義務者は20,660人の91.8%、18,966人となる。令和2年度所得割納税義務者数21,487人から2,521人減少し、約263,477千円の減収が見込まれる。個人市民税の所得割について令和3年から令和9年までの見込みについて問う。</p> <p>(3) 有利な財源の状況と対処方法について問う。合併特例債のソフト事業基金である「合併地域振興基金」や電源立地交付金を活用した「公共施設維持補修基金」については、基金運用の計画について問う。また、名水マラソンの補助金2,000万円を合併地域振興基金から全額支出していることなどを踏まえ、必要な事業を継続していくため、将来の財源確保についての考え方について問う。</p> <p>(4) 施策や事業の適正化について問う。地方交付税の算定基礎では人口割が基本となっていることを踏まえ、今後の人口減少による基準財政需要額の減少や労働人口減少による市民税の減収が見込まれる。一方で、公共施設や道路橋梁の維持管理については現況の費用が見込まれ市民(担税者)1人あたりの負担増が危惧されている。市民福祉(便益)向上を持続可能にする費用負担(コスト)について運用方針を、以下の質問にて具体的に問う。</p> <p>(4-1) 選択と集中を進め、公共における費用便益を高めるためには、市民へのより丁寧な説明を求めたい。エビデンスや客観的なデータなど市民が理解しやすい説明方法を期待し、今後の市民への説明方法について問う。</p> <p>(4-2) 議案第68号で黒部宇奈月温泉駅の駐車場の有料化が提案されている。現状の便益のまま、コストが下がることは費用便益が向上する。費用便益を上げるためには、便益をあげるか、費用をさげるか、その両方を行うことが必要となる。今後の目玉事業である、道の駅「KOKOくろべ」、(仮称)「市民交流センター」において、費用便益をあげていくために現時点でどのような取り組みを行うのか、具体的な考え方を問う、併せて定量的な事業評価を高めるため検証可能な数値目標について問う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市 長</p> <p>総務管理部長</p> <p>都市創造部長 教育部長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 小柳 勇人	<p>1 総合振興計画の後期策定と自由度の高い財源確保について</p> <p>(4-3) 市民福祉の向上を、日常生活における幸福「生きていく」ことの楽しさに求めたい。黒部市の文化文明が高度化し、多様化した価値観に対応していくために建設消費型から、いわゆるコト主義、ソフト事業へ転換していく考え方を問う。</p> <p>(5) 市民便益向上のため、黒部市独自財源の増収が求められる。その基本となる個人市民税の所得割について市民の皆様と共に増収していくため、柔軟な働き方への支援策、所得向上のための産業支援、戦略的な移住定住政策を求めたい。以下の具体的な内容について問う。</p> <p>(5-1) 核家族化の進行と労働力減少により共働き世帯が増加してきた。保育所、放課後児童クラブには、「保育政策」を基本としつつも、働きやすい環境を補う「労働政策」の役割を求めたい。現状の利用者ニーズとその変化の認識について問う。</p> <p>(5-2) 移住定住政策について問う。市税収入の視点から、移住定住される世帯の特徴について問う。国勢調査による周辺市町の人口変動からは25～35歳の子持ち世代の転入転出による社会移動が推計できる。本市の移動定住の分析(エビデンス)とこの世代への特別なアプローチ強化についての考え方について問う。</p> <p>(6) 総合振興計画の後期策定は、堀内市政での策定ではなく、大野市政で行うこと、及び、新型コロナウイルス感染症、デジタル化、2025年問題、人口減少社会の具現化など、まさに時代の過度期であることを踏まえ、大胆な意識改革と計画見直し作業を期待している。そこで以下について問う。</p> <p>(6-1) 後期策定作業や各年度予算編成において、福祉・教育・インフラ維持・防災など行政としての土台を万全とした上で、市民の費用便益の良質化が求められる。具体的事例として、市道延長、公共施設維持については費用抑制による良質化や市民参画や住民自治の促進による便益向上などを期待したい。そのために市役所職員の意識改革が重要と期待し、リーダーとしての総合振興計画策定に臨む考え方について問う。</p> <p>(6-2) 本市の行政運営の強みである安定した市民税収入を維持向上していくため、労働者人口が減少するなかでも、市民所得の向上を求めたい。今後、具体的には関西電力ルート一般開放を契機とした観光産業や産業のデジタル化による生産性向上などが期待される。さらに本市の強みを加速させるため生地駅周辺で計画されている大型計画を含め民間投資の呼び込みと産業基盤の強化を期待している。現在の変革期に、市税収入の安定化を進めるため、第2次総合振興計画について見直す考えについて問う。</p>	<p>市長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
2	自民クラブ 小 柳 勇 人	<p>2 協働のまちづくりについて</p> <p>(1) H22年の黒部市協働のまちづくりガイドラインの進捗状況とその成果について問う。併せて、現在の考え方について問う。</p> <p>(2) 多様化する価値観や情報化社会が進行するなかで、お互いが支えあい市民福祉を創造していく努力が行政にも市民にも求められる。市民が主役の黒部市を目指していくため、協働を目指す理由や目的、市民参画の促進などを説明していく具体的な方法について問う。</p> <p>(3) 平成18年の新市誕生から先人の努力により様々な進化を成し遂げ、社会が変化してきた。日本全体では、人口動向の変化、デジタル化、労働人口の減少、コロナ禍など大きな流れと感じている。黒部市において、具体的な変化として、北陸新幹線開業、中学校再編、小学校再編、公民館建設、保育所民営化などを感じている。地域のあり方においては、既に44歳の私と11歳の子供では、出身となる小学校、中学校の校区が異なり、ふるさと意識の違いを痛感している。世代間の人口差異の現実を踏まえ、住民自治についても、その検証を行うとともに柔軟な変化を前提とした検討を求めたい。さらに、小学校再編、自治振興会の住民自治の役割など、住民生活に直結することに関して市民と対話を進めていく考え方について改めて問う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市 長</p>

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	谷村一成 (一問一答方式)	<p>1 デジタル化について</p> <p>(1) 我が国では、平成12年のIT基本法制定以降、e-Japan戦略を始めとした様々なIT戦略等を掲げてデジタル化に取り組み、光ファイバー等ブロードバンドの整備は大きく進展したが、一方でサービス普及やICT利活用面は十分に進んだとは言えない状況である。特に行政のデジタル化は進んでいなかったと思われる。そのような状況下の中、本市のブロードバンド整備、サービス普及、利活用はどのような状況なのか伺う。</p> <p>(2) 今までのデジタル化・IT活用は、ペーパーレス化や業務改善といったコスト削減や効率化を目指す部分が多くあった。当局内においてのIT活用の成果と課題を伺う。</p> <p>(3) 先月23日、黒部市デジタル化推進PTが発足されたが、その狙い、目的、メンバー、計画、ゴール等について伺う。</p> <p>(4) 今後、デジタル化を推進するための専門部署を設置すべきではと考えるが。また、デジタル庁同様に民間ノウハウを活用する必要があると考えるが、民間出身者の採用についての所見を伺う。</p> <p>(5) 「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を。」をミッションとしてデジタル庁が発足したが、本市では、デジタル弱者への対応についてどのような考えを持っているのか伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	谷村一成 (一問一答方式)	<p>2 公共施設について</p> <p>(1) (仮称)くろべ市民交流センターは5つの機能の融合施設であるため、複合施設の特徴を活かした運営とそれぞれの機能を果たす運営が求められると考えるが、5つの機能の連携と融合を図る組織運営をどのように考えているのか。 ①利用者への対応面では ②施設管理面では ③事務運営面では それぞれについて、所見を伺う。</p> <p>(2) コロナ禍を機に、電子書籍を貸し出す「電子図書館」を導入する動きが全国的に広がっているが、(仮称)くろべ市民交流センターの図書館機能に電子図書館を導入すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(3) (仮称)くろべ市民交流センター建設に伴い、機能集約される図書館、市民会館、働く婦人の家、三日市公民館について、黒部市公共施設等総合管理計画では、今後短期(R3～R7対応)として解体や売却等の再編の方向性を検討されているが、具体的な計画やスケジュールはどのようなになっているのか。まだ検討段階であれば、いつごろ計画が作られるのか伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>総務管理部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	中野得雄 (一問一答方式)	<p>1 有害鳥獣対策について</p> <p>(1) 本年度の「猿」・「イノシシ」・「熊」・「カラス」等の有害鳥獣捕獲状況と被害状況について伺う。また、「青鷺」による被害が著しい現状を鑑み、来年度予算に駆除費を計上すべきと考えるが如何か伺う。</p> <p>(2) 最近、山間地区に出没していた猿が、市内(田家地区)の住宅街・通学路に出没しているがその現状を認識しているのか伺う。また、その対策についてどのような協議を行っているのか伺う。</p> <p>(3) 山間地区におけるイノシシ対策用電気柵購入・設置費の補助金制度の拡充、更には、条件によっては全額を補助する制度の導入を図って頂きたいが如何か伺う。</p> <p>(4) 有害鳥獣問題を山間地だけの問題とせず、市街地には出沒させない対策として朝日町が行っている、全市民に協力を願い、電気柵等の維持管理費をまかなえる様な制度を制定できないか伺う。</p> <p>(5) 獣肉加工組合の稼働状況と実績・今後の経営支援について伺う。また、ジビエについて啓蒙活動として「道の駅KOKOくろべ」での事業を出店者と協議しては如何か併せて伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>
		<p>2 冬季のスクールバス運行について</p> <p>(1) 市内スクールバスの台数について伺う。その中で4輪駆動車の割合と、4輪駆動車配置の基準について伺う。</p> <p>(2) 山間地からの通学児童用スクールバスの4輪駆動車導入について、どのように計画しているのか伺う。</p> <p>(3) 特に冬期間の通学バス運行について、当市の安全運行に係る部分のマニュアルは委託事業者にしっかりと書面で謳っているのか伺う。</p> <p>(4) 児童保護者の不安等払拭のため、市内スクールバス全車に、GPS装置の導入を提案するが如何か伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	中野得雄 (一問一答方式)	<p>3 除雪対策について</p> <p>(1) 市内の除雪対応で、同一町内に2社以上の事業者が計画された場合、除雪業者によって除雪の状態が違う箇所が多く見受けられるが住民の生活道路として統一する事が望ましいと考えるが、対応策をどの様に考えているのか伺う。</p> <p>(2) 昨年度のように記録的な豪雪であった場合、除雪道路に面している高齢者宅を通過する際に、除雪した雪の塊を玄関先よりずらす等の思いやり除雪が求められるが、地元自治会等と協議しては如何か伺う。</p> <p>(3) 令和2年度に於いての除雪関連の補修費・件数についてはどのような見込みとなっているのか伺う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p>
		<p>4 名水マラソンについて</p> <p>(1) 名水マラソン実施の最終決定時期はいつ頃になるのか伺う。</p> <p>(2) 実施する場合の、参加者(ランナー)に対する新型コロナウイルス感染症対応はどの様に考えているのか伺う。また、地域ボランティアの方に対する新型コロナウイルス感染症対策はどの様に考えているのか、さらには、ボランティア統一ユニホームについての考えについて伺う。</p> <p>(3) 全国より来市される参加者を受け入れる為の、市内の宿泊・飲食関連者に対する新型コロナウイルス感染症対策をどの様に行うのか伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	大辻菊美 (一問一答方式)	<p style="text-align: center;">黒部市高齢者福祉計画の</p> <p>1 「高齢者にやさしいまちづくりの推進について」</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の制限を余儀なくされている。配食サービスは週3回であるが、週5回にすることによって選択肢が増え、状況に応じた生活を営むことができる。提供回数を増やすことについて伺う。</p> <p>(2) 軽度生活支援事業について、平成30年度から利用者が半減しているが要因について伺う。</p> <p>(3) くろベネットに個別支援活動がある。軽度生活支援事業の利用件数が減少したことによって、くろベネットチーム員の活動が負担増になっているのか伺う。</p> <p>(4) 防犯対策について、コロナ禍で在宅時間が長い中、高齢者を狙った犯罪が増加しているのではないかと懸念される。本市の現状について伺う。</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染症の影響により外出が制限される中、コロナ禍での認知症の症状悪化が懸念される。本市の状況について伺う。</p> <p>(6) 認知症サポーター養成講座受講後のステップアップ研修について、開催時期及び、対象者について伺う。</p> <p>(7) 高齢者虐待防止対策について、本市の高齢者虐待の現状について伺う。</p> <p>(8) 高齢者虐待に関する広報・啓発についての講演会や研修会は、定期的に行っているのか。どのような方が対象なのか。また、住民への周知について伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	大辻菊美 (一問一答方式)	<p data-bbox="523 275 879 309">2 児童虐待防止について</p> <p data-bbox="523 331 1209 398">(1) 令和2年度、富山県は児童虐待対応件数が前年度より減少しているが、本市の現状について伺う。</p> <p data-bbox="523 465 1209 533">(2) 出産後うつになり乳幼児虐待になるケースもある。コロナ禍で訪問が難しい中、ケア対応について伺う。</p>	<p data-bbox="1246 331 1422 365">市民福祉部長</p> <p data-bbox="1246 465 1422 499">市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	柳田 守 (一問一答方式)	<p>1 姉妹都市・友好都市について</p> <p>(1) 市長の提案理由説明等によれば、今定例会で議決されれば、来る11月5日(金)に宮城県大崎市の一行が来市され、姉妹都市提携調印式が行われる予定と聞く。本年3月定例会での辻泰久議員の質問と一部重複するが、今、新たに姉妹都市を締結する必要性や意義、姉妹都市のあり方等を伺いたい。</p> <p>(2) 大崎市は、平成18年3月31日に近隣1市6町で新設した合併市であり、8月1日人口は約12万7千人と聞く。大崎市合併前の旧市町から引き継いだ姉妹都市を国内に7市区町、国外はアメリカに2市、中国に1市合わせて計10の都市と姉妹都市提携していると聞く。そういう中で本市との締結に向けては、YKKAPの東北製造所の立地や昨年10月に締結した「災害時における相互応援協定」等、締結に至る下地は多々あると思うが、何が姉妹都市締結の決め手となったのか伺いたい。</p> <p>(3) 根室市との交流についてお聞きします。根室市と本市は昭和51年10月の姉妹都市提携調印以来45年を経た今も北方領土返還要求運動を通じ、名実ともに姉妹都市として各般にわたり交流を続けていることは周知の事実である。北方領土資料室の運営をはじめとする北方領土返還啓発活動、親善スポーツ交換団の毎年相互訪問、文化作品等の相互展示、黒部市民病院と市立根室病院の相互医療研修、市職員の相互派遣等枚挙にいとまがない。両市間はまさに「姉妹都市交流の神髄」の感を持つが、締結から半世紀を迎えようとする今、末永く交流するに際し、留意点や今後の方向性をお聞きしたい。</p> <p>(4) メーコン・ビブ郡との交流についてお聞きします。昭和52年5月の姉妹都市提携以来44年、海外の姉妹都市ではあるがこの間数々の相互交流を重ねた。歴代市長の相互訪問、27回を数える桜井高校生の研修訪問や市内中学生の派遣、医療分野における交換協定に基づく医療技術者等の相互派遣・訪問等々多くの交流事業を行ってきた。今年度末には市長及び議会代表による親善訪問も予定されており、さらに交流が深まるものと期待するが、両市の今後の方向性について考えをお聞きしたい。</p> <p>(5) スドウェスト・フリースラン市との交流についてお聞きします。昭和45年9月の姉妹都市提携以来51年が経過した。当時はスネーク市と姉妹都市であり、歴代市長の相互訪問、20名を超える2回の市民訪問団派遣、中学生による相互訪問など数多くはないものの交流が着実に行われていたが、平成23年1月の隣市4市との合併でスドウェスト・フリースラン市になって以来、交流も数少なくなり平成27年頃には「当面の間交流事業は見合わせたい」旨の意向があったと記憶しているが、姉妹都市事業の存続の是非を含め、方向性をお聞きしたい。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	柳田 守 (一問一答方式)	<p>1 姉妹都市・友好都市について</p> <p>(6) 国際友好都市三陟市との交流についてお聞きします。三陟市は先の姉妹都市3市とは異なる経緯をたどり、平成10年の「国際都市間公務員相互派遣実施協定」や平成14年の「スポーツ(マラソン)相互交流に関する協定」を根拠として実質的な友好関係を構築し、同年三陟市で開催された「2002三陟世界洞窟博覧会」に黒部市民240名がチャーター機により訪問し、観覧するなど一気に友好機運が高まった。以後マラソンの相互派遣、市職員の相互派遣など一定の交流は続いているがコロナ禍の影響や政府同士の相互不信の関係もあり、やや低迷していると感じる。そこでコロナ収束が大前提ではあるが、新たな友好ムードの構築には何が必要かを含め、今後の方向性についてお聞きしたい。</p>	市長
		<p>2 本市地域防災計画について</p> <p>(1) 災害対策基本法の改正及び5月20日からの運用開始に合わせ、「黒部市避難判断・伝達マニュアル」も警戒レベル3は、従前の避難準備・高齢者等避難開始から「高齢者等避難」へ、警戒レベル4は、従前の避難勧告・避難指示を一本化し「避難指示」へ、警戒レベル5は、災害発生情報から「緊急安全確保」へと、災害時における円滑かつ迅速な避難の確保を目途にそれぞれ見直された。国で定める統一指針として市が発令する避難情報ではあるが、今後の有事の際の発令に向けてその周知方法等留意する点は何か伺う。</p> <p>(2) 平成25年に作成義務化された「避難行動要支援者名簿」は、作成普及が進んだものの、いまだ災害により多くの高齢者が被害を受け、避難の実効性の確保に課題があるとされ、今般の法律改正で市町村による「個別避難計画」の作成が努力義務化された。本市は5月1日現在で511人分の避難行動要支援者名簿が整備され、うち個別避難計画については64%にあたる326人分が作成されていると聞かすが、現段階での作成状況を伺う。</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	柳田 守 (一問一答方式)	<p>2 本市地域防災計画について</p> <p>(3) 今回「避難判断・伝達マニュアル」が大きく内容修正された。洪水や土砂災害、地震等災害種別ごとの避難の考え方や地区ごとの避難行動等について、具体的に記載し、住民目線での避難行動を強く意識した内容に改善されたと感じる。例えば洪水等災害においては、洪水予報河川(黒部川)、水位周知河川(2級河川)における警戒レベルごとの発令基準の明確化のほか、避難すべき区域と避難の考え方において、計画規模降雨時(50年～100年に一度)と想定最大規模降雨時(1000年に一度)に分け、16地区ごとの指定避難所に収容した場合において、ABCDの4分類ごとの避難行動例を示し具体的に記載した。また地区ごとの避難行動一覧表も資料として秀逸とは思いますが市民の皆様理解・納得していただくために、いかにして周知を図るのか伺う。</p> <p>(4) 「指定緊急避難場所及び指定避難所」についても、洪水に係る災害規模を細分化し、施設の使用可否や収容人員を具体的に示すなど分かり易く修正された。ただ、避難所75施設の各収容人員数が気になる。その算定根拠、具体的には一人当たり面積の考え方を伺う。</p> <p>(5) 本年度の市総合防災訓練は、8月22日(日)に田家地区、たかせ小学校体育館及びグラウンドで、感染症対策に万全を期した上で災害時に必要な避難行動及び情報伝達、避難所運営訓練を行う予定と聞いていたが、8月17日付けで防災訓練中止の案内があった。8月16日に県が示すロードマップの警戒レベルが最も高い「ステージ3」に引き上げられたことが直接の原因と理解するが、何故延期ではなく中止なのか。コロナが一定の収束を見、ステージが下がればなおさらのこと、この訓練が必要ではないかとの不満の声も聞く。また、感染拡大に留意した新しい避難所のあり方を先取りする訓練が必要との声も聞く。今一度、延期ではなく中止とした理由を聞きたい。</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	橋本文一 (一括方式)	<p>1 医療法「改正」と医療体制について</p> <p>(1) 「病床削減推進法案」と言われている医療法「改正」が5月21日、自民、公明、日本維新の会、国民民主党の賛成で可決成立した。今回のコロナ感染症拡大で「病床がひっ迫している」「医療従事者が確保できない」「医療崩壊する」こうした危機の中で、悪法が十分な審議もされず消費税を財源とした補助金で病床削減を法定化した。医療法「改正」の主な内容は、病床を削減すれば国の消費税財源から今年度195億円が計上され、削減される病床1万1000床規模(全国保険医新聞ホームページ)になるといわれている。富山市に8月20日コロナウイルスのまん延防止等重点措置が適用された。富山県ではコロナ感染者が増え続け、病床が逼迫し、軽症者はホテル療養にと入院基準の見直しを行った。1日現在「自宅療養」の感染者は461人に上る。コロナ危機が明らかにしたのは、重篤化しても入院が出来ず、命の選別が迫られるぜい弱な医療体制こそ強化すべきと考えるが、どうか。</p> <p>(2) 病床削減の補助金は廃止し、予算はコロナ禍で苦闘する医療機関・医療従事者に回すべきと考えるが、どうか。</p> <p>(3) 今回のコロナ感染症拡大にみられるように、感染症対策、感染症急増時医療・対策は現場・自治体任せになっている。今回のような「有事に機動的に対応するには、平時より人員に余裕を持たせることが必要であり、ゆとりが生まれる診療報酬にするため引き上げが必要」と考えるが、現状はどうか。引き上げを国に求める考えはないか。</p> <p>(4) 市内のコロナに感染した家族から相談があった。幸いにして富山市内のホテルで療養することになった。市民病院のコロナに対する医療体制はどのようになっているか。</p>	<p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院事務局長</p> <p>市民病院事務局長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	橋本文一 (一括方式)	<p data-bbox="523 271 1029 304">2 市有地の有効利用と現状について</p> <p data-bbox="523 331 1219 521">(1) 未利用地について、以前、「売却できる土地等を把握し、宅地等については売却しやすい面積の分割や価格設定を行い条件付き一般競争入札、または、一般公募による売却に努める」とのことであった。その後どうされたのか。これまでの経過と現状について伺う。</p> <p data-bbox="523 613 1219 741">(2) 利用目的が決まっていない土地や、利用予定があるものの、今後も利用について検討を有す土地の面積と、現在の土地価格はそれぞれいくらと見ることができるのか、伺う。</p> <p data-bbox="523 810 1219 875">(3) 利用目的が決まっていない土地は、早急に売却するか、有効利用するべきであると思うが、考えを伺う。</p> <p data-bbox="523 949 1182 983">(4) 未利用地は、現在どのように管理されているのか。</p>	<p data-bbox="1246 331 1422 365">総務管理部長</p> <p data-bbox="1246 613 1422 647">総務管理部長</p> <p data-bbox="1246 810 1422 844">総務管理部長</p> <p data-bbox="1246 949 1422 983">総務管理部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	橋本文一 (一括方式)	<p>3 基幹産業の農業について</p> <p>(1) 富山県産米の概算金が全銘柄の2700円～500円下落した。主要銘柄である県産コシヒカリの概算金は、過去最低だった10,500円に次ぐ低さである。これでは離農や耕作放棄地が益々進むことになる。国、県、市の支援が必要であります。とりわけて市として、どのような支援ができるのか。</p> <p>(2) 農業従事者は米価の下落、高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などで将来への展望が描けない地域が増加してきている。5年先、10年先の地域の農業をだれが、どうやって守っていくのか、喫緊の課題である。「人・農地プラン」の実現化が求められているが、市としての現状はどのように進んでいるのか。</p> <p>(3) 市として、「人・農地プラン」の実現化を進めるにあたってモデル地区を指定する考えはないか。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>
		<p>4 道の駅「KOKOくろべ」について</p> <p>(1) 誘致ゾーン事業用地に建設予定の温浴施設については、6月議会での答弁では、整備事業者である光陽興産から、温浴施設の規模や設計内容の見直しが必要となり、今後のスケジュールについても見直しを余儀なくされている。市としては、見直しのスケジュールや設計内容等について詳細な報告を求めている。今後、変更される整備計画について協議していくとのことであった。6月以降どのような協議をされたのか。地元立野地区では、温浴施設がダメになったとの声も出ているが、どうなのか。</p> <p>(2) 南側敷地へ予定されていた事業者がすべて撤退したとしても、「基本協定」どおり光陽興産と賃貸契約されるものと、わたしは、確信していたが、6月議会での答弁では、南側敷地の賃貸借契約に係る用地の取り扱いについて、北側敷地と区別することも検討することであった。それでは、いつまでたっても賃貸料が入ってこないことになるが、どうなのか。</p> <p>(3) 「道の駅KOKOくろべ」の消雪水用に4本の井戸が掘られた。周辺井戸の影響調査を行われたが、水位低下や流量減少等は、どうであったのか伺う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	伊東景治 (一括方式)	<p>1 これからのデジタル化社会に向けて</p> <p>(1) デジタル推進化プロジェクトチーム(PT)の目的、目標、計画、組織について</p> <p>(2) 本年度、職員のテレワークを試行実施する計画があるが、現在どのように進展しているのか。現時点での効果、課題について</p> <p>(3) キャッシュレス決済推進事業の進捗状況と課題について</p> <p>(4) デジタルデバイドをなくすかが重要な課題である。デジタルデバイドが生まれる背景や原因、その影響をどのように考えているか。</p> <p>(5) これからのデジタル化社会のことやICTシステムやICTツールを活用するためのリテラシー教育としてCATVの番組を作り、市民に広く定期的に放送したらどうか。</p> <p>(6) ICT(情報通信技術)を活用した教育の推進について 日常的に新聞を読むNIEの取組みの教育効果はかなりあると言われている。経済協力開発機構(OECD)の「生徒の学習到達度調査(PISA)2018年」によると、子どもたちの総合読解力と新聞の閲読頻度に相関関係があることが分かっている。最近では新聞もデジタル化され、WEBUNなどでデジタルニュースや情報を閲読することが出来る。これを小中学校のタブレットを使った学習で活用し、情報収集力や言語力の向上など「新しい学び」に役立てるようにはどうか。</p> <p>(7) 小学6年と中学3年の全員を対象に5月に行った2021年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果を公表した。文科省は休校日数と正答率を分析し「相関関係はない」と結論づけている。一方、全国の児童生徒へのアンケートでは、新型コロナウイルス感染拡大による昨春の一斉休校時に「勉強への不安を感じた」との回答が6割前後に上ったほか、国の要請に基づく昨春の一斉休校の際、子どもたちの生活リズムや学習習慣が乱れていた実態が浮かび上がっている。この原因についての所見は</p> <p>(8) 2020年に自殺した児童生徒は過去最多の499(前年比100人増)。特に高校生女子は80人から140人へと増大。在宅勤務で家庭内が過密化し、親のいらだちの矛先が子供に向かいやすかった、長期休校や部活動の中止などで児童生徒の目標が失われたことなどが理由である。対策として、ICTを活用した相談体制の構築、自殺する恐れのある児童生徒の早期発見システムと児童生徒の心身状態のデータを学校全体で共有することで予知が出来るとの提案がある。いじめについても同様と思うが、教育長の考えは。</p>	<p>市長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	高野早苗 (一問一答方式)	<p>1 コロナ禍における妊産婦等対応について</p> <p>(1) 千葉県柏市のような事例が発生した場合、市民病院はどのような対応を想定しているのか伺う。</p> <p>(2) 現在、ワクチン接種は12歳以上が対象であるが、それ以下の子どもの感染も発生している。この子どもが入院となると保護者の付き添いが必要と思われるが、市民病院の受け入れの考え方について伺う。</p> <p>(3) 妊婦にワクチンを優先接種できないか伺う。併せて、家族を含んだ優先接種の考えについて伺う。</p> <p>(4) 昨年の黒部市独自の新生児特別定額給付金は大変好評だった。単年度限りであったが、本年度も給付することについて市長の考えを伺う。</p> <p>(5) ワクチン接種を躊躇する理由の一つに副反応に対する不安がある。副反応に対する相談など現在の支援体制と今後の対応について伺う。</p> <p>(6) 妊産婦の孤立化や孤独感が心配される。通常以上にきめ細かい相談体制や支援体制が求められると思う。その考えを伺う。</p> <p>(7) 母子健康手帳交付時などに、希望する方にアドレス登録してもらい、必要な情報を提供していくオンライン対応ができないか伺う。</p> <p>(8) 産後ケア対応は、コロナ禍で市民病院での対応は難しいだろうが、やはり出産したところで、と望む声を聞く。産後ケアは心身の不調、育児不安の解消を手助けする大事なケアであり、実家に帰ったようなホットスペースが大切と思われるが、産後ケアの今後の進め方を伺う。</p>	<p>病院長</p> <p>病院長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	高野早苗 (一問一答方式)	<p>2 乳がんについて</p> <p>(1) 本市における乳がん検診の受診状況について伺う。</p> <p>(2) 受診率の向上策、並びに乳がんの勉強会ができないか伺う。</p> <p>(3) 令和2年度より予算化されたアピアランスケアの周知方法と助成申し込みの状況を伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>
		<p>3 子宮頸がんについて</p> <p>(1) 子宮頸がんの原因の6から7割がHPV16・18型であるといわれている。このHPV16・18型の感染を予防できるといわれているワクチンの個別案内送付のあり方について伺う。</p> <p>(2) HPVワクチン接種を受けることを検討している対象者や、打った後副反応ではないかと悩んでいる人の相談体制について伺う。</p> <p>(3) HPVワクチン接種を受けた方に対する実態調査の考え方について伺う。</p> <p>(4) 子宮頸がんにならないようにする為のもう一つの方策は、早期発見と考える。検診の受診状況について伺う。</p> <p>(5) 39歳以下の子宮頸がんの発病や死亡が増えている。若年検診受診者を増やす考えについて伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	柴 沢 太 郎 (一問一答方式)	1 富山県北方領土史料室について	
		(1) 1周年記念を行う意義と目的について	市 長
		(2) 前身である漁業資料館の閉鎖の件もあり、より効果的なPRを。	総務管理部長
		(3) 根室市と定期的な資料の入替えを。	総務管理部長
		2 黒部踊り街流しについて	
		(1) 見る人も踊る人も楽しいと思える踊りにリニューアルすべきでは	教育部長
		(2) 基本、やりたい方々が実費で行うべきでは	教育部長
		(3) 来年度以降もし行う場合は、お金のかからない設えにすべきでは	教育部長
		3 イベントのあり方について	
(1) 市民に参画を促す事業は、事前に説明と理解を得る必要がある。3月の予算審議の際は、参画をお願いする団体・個人から了承を得たうえで上程して頂きたいと考えるが。	市 長		
(2) 11月に市制施行15周年記念式典を中心にいくつかのイベントが行われることになっているが、その前にタウンミーティング等を開催し、開催意義を市民に説明したほうが良いと考えるが。	市 長		
(3) 来年度以降は、市ではなく市民が主体となって考え行うイベントに力を注いで頂きたいと考えるが	市 長		

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	成川正幸 (一問一答方式)	1 いじめ根絶に向けて (1) 市内小中学校のいじめ認知件数と推移を伺う。 (2) 各学校ごとに作られたいじめ防止基本方針は、誰を対象にみてもらうのか伺う。 (3) いじめ防止第一次予防の現在の取組みと認識を伺う。 (4) いじめ防止基本方針は、教員、児童生徒、家庭、地域とどのように共有されているのか伺う。 (5) 本市でもCAP(子どもへの暴力防止プログラム)を小中学校で実施してはどうか伺う。 (6) くろべ男女共同参画プランの見直しをするのであれば性の多様性も触れていただきたいがどうか伺う。	教育長 教育長 教育長 教育長 教育部長 総務管理部長
		2 協働のまちづくりと魅力発信について (1) 本市の協働の目指すところと現在はどうか伺う。 (2) スマートフォンで簡単に検索して、知りたいときに知りたい情報を得る事が出来るアプリを導入してはどうか伺う。 (3) 本市の「関係人口」を増やすために、市外に黒部市の応援団「黒部市ファンクラブ」を結成してはどうかと考えますが、所見を伺う。	総務管理部長 総務管理部長 市長

○一括方式とは
議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは
議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式